

第2回視覚障害教育担当者研修会（1日目）

R3. 8. 4

2014年に西早稲田で「手と目でみる教材ライブラリー」を開設された大内 進先生をお招きして触察について考えました。

午前中はライブラリーから観光名所の建築模型や触地図、乗り物模型、動物模型、手で見る絵画など80点近くの教材をお借りし、本校の児童生徒が触察体験を行いました。



5角形、6角形の回転磁石付きプレート「マジキップ」を使って大きな32面体を作りました。



「乗り物模型の触察」自動車は古いものから最近のものまで順に並べてあり、歴史が感じられます。



名古屋城模型、名古屋城ジオラマ、金の鯨などに触れました。

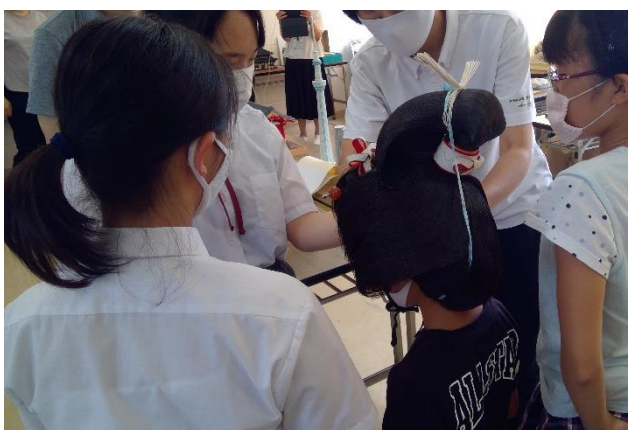
他にも、小学部が修学旅行で訪れる京都・奈良に関する建築模型や大型触地図に触れて形や位置などを確認しました。



シンデレラ城、雷門、東京駅など、中学部が修学旅行で訪れている東京方面の建築模型も豊富にありました。



「姿見七人化粧」の浮彫画鏡に見立てたアクリル板を外して、鏡に映っている人物画に触れています。日本髪のかつらにも触れ、構造の確認もしました。



午後から行われた大内先生の講義『手でみる力を育てるとのこと「手と目でみる教材ライブラリー」の取組』の様子。

「手と目でみる教材ライブラリー」について
 東京都新宿区西早稲田3-14-2
 JR高田馬場駅より徒歩12分、地下鉄副都心線西早稲田駅より徒歩7分
 ライブラリーは予約制となっています。